

80 歳以上の部 看護・保健部門

受賞者： なかの 中野 てるよ 照代 (93 歳)

笠戸島福祉介護センター 施設長

離島における広範な看護業務で島民の健康を支える



中野氏は、四半世紀にわたり住民に寄り添った地域医療を支えている。医療体制が十分とは言い難い離島における医療は、救急医療、海難事故者の救護、訪問看護、妊産婦への対応など多岐にわたり、広範な知識と経験が不可欠である。中野氏は、1970 年までは離島だった山口県の笠戸島にて、看護師、保健師として、たゆまぬ自己研鑽に励みながら、地域における保健、看護、福祉に貢献し、看護職の質向上に向け、強い責任感を持って実行力を遺憾なく発揮してきた。後には山口県のみならず広島県の事業所などで健康診断、保健指導、食事指導などを行い、受診者やその家族の健康的な生活を支えた。

90 歳を超える今も、グループホームとデイサービスを実施する笠戸島福祉介護センターの施設長としてこれまで培ってきた経験や知識、技術を活かし、第一線で利用者への福祉サービスの提供や介護職員の指導に活躍している。施設利用者にとって、年齢の近い中野氏は、とても頼れる存在であり、話題も豊富で気軽に相談ができる相手として高い信頼が寄せられている。中野氏が高齢であっても健康に働いている姿は、地域住民の憧れであり、尊敬を集めている。また、センターの医療・福祉従事者のロールモデルとなり、施設の従事者や利用者をはじめ多くの人々の励みとなっている。

推薦者： 西生 敏代 公益社団法人山口県看護協会 会長